

部局名	都市整備部	所属名	公園緑地課	所属長名	柳澤 洋	電話	483-1151 内線3230
-----	-------	-----	-------	------	------	----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要 (PLAN)

コード	3351	事務事業名称	緑地保全事業	短縮コード	経常	3351	臨時	3352				
予算区分	会計	01	一般会計	款	08	土木費	項	04	都市計画費	目	06	緑化費
区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> その他		根拠法令等	都市緑地法・都市公園法 ①・⑤・⑥八千代市ふるさとの緑を守る条例・②八千代市補助金交付規則第3条・④生産緑地法								
事業概要 (事務事業を開始したきっかけを含めて記入)												
昭和30年代から東京、大阪等の大都市地域から急激に緑地が減少していった。昭和40年代に至って全国的に波及したことから、都市における緑地の保全のための適正な措置をとるため都市緑地保全法(現:都市緑地法)が制定された。本市では、昭和50年「八千代市ふるさとの緑を守る条例」を、昭和62年に「緑の都市宣言」を行い、平成15年に「八千代市緑の基本計画」を策定し、緑地の保全に努めている。												
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	6本の柱(章)	05	第5章快適生活都市をめざして					
本市の緑地は、公共施設緑地と民間施設緑地で構成されているが、民間施設緑地は、個人所有地であることから規制が難しく開発や相続等により減少している。					大項目(節)	02	第2節公園・緑地					
					中項目	01	1. 公園・緑地					
					小項目	01	(1)都市公園の整備					
						02	(2)緑化の推進					
					細項目	04	④都市緑地等の整備					
01	①公的空間の緑化の推進											
				実施計画の計画事業	5070	八千代台北子供の森用地取得事業						
計画事業の位置付けの有無			<input type="checkbox"/>	計画事業期間	~		計画事業費	千円				

2. 事務事業の目的・指標・実績 (DO)

対象 (誰を何を対象にしているのか)	市民 ①緑化協定事業 ②花と緑の基金補助事業 ③フラワーポット植栽事業 ④生産緑地事業 ⑤市民の森保全事業 ⑥環境保全林・保存樹木助成事業						
手段 (具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	※平成23年度に実際に行ったこと: ①各申請書の受付処理 ②補助金申請の受付処理 ③委託費の支払 ④各証明の発行。買取り申出の処理。都市計画決定変更手続き ⑤用地買収・借上 ⑥申請書等の受付処理						
	※平成24年度に計画していること: ①各申請書の受付処理 ②補助金申請の受付処理 ③委託費の支払 ④各証明の発行。買取り申出の処理。都市計画決定変更手続き ⑤用地買収・借上 ⑥申請書等の受付処理						
意図 (何を狙っているのか)	①宅地等の緑化保全及び推進 ②緑の基金の活動を助成する。 ③適切な維持管理 ④良好な都市環境の形成を図る。 ⑤市民の森等緑地の確保ができる。 ⑥適切な維持管理						
ねらい(上位施策の意図)	入力対象外						
区分	指標	内容	単位	22年度	23年度		24年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	⑤市民の森等の箇所数(賃借地)	箇所	5	5	5	5
	指標2	⑤市民の森用地取得面積	m ²	3,065	2,850	2,850	2,830
	指標3	⑥環境保全林の数	m ²	37,950	37,950	32,072	32,072
活動指標	指標1	⑤市民の森等の用地借上げ面積	m ²	22,616	22,616	22,616	22,616
	指標2	⑤市民の森用地買収面積	m ²	3,065	2,850	2,850	2,830
	指標3	⑥環境保全林等への助成金の交付	千円	1,403	1,406	1,227	1,227
成果指標	指標1	⑤面積が多いほど成果大であり指標となる。	m ²	22,616	22,616	22,616	22,616
	指標2	⑤面積が多いほど成果大であり指標となる。	m ²	3,065	2,850	2,850	2,830
	指標3	⑥指定面積が多いほど成果大であり指標となる。	m ²	37,950	37,950	32,072	32,072
上位成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

コード	3351	事務事業名称	緑地保全事業		所属名	公園緑地課	
	単位	22年度		23年度		24年度	
		実績		計画		実績	
事業費(A)	財源内訳	国	千円	55,000	50,000	50,000	48,000
		県	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	99,000	90,000	90,000	86,400
		一般財源	千円	106,529	69,199	64,942	95,581
		その他	千円	0	0	0	0
主な事業費の内訳		市民の森用地買収等・用地借り上げ、環境緑化公社事業運営補助金、環境保全林・保存樹木助成事業、フラワーポット植栽事業		市民の森用地買収等・用地借り上げ、環境緑化公社事業運営補助金、環境保全林・保存樹木助成事業、フラワーポット植栽事業		市民の森用地買収等・用地借り上げ、環境緑化公社事業運営補助金、環境保全林・保存樹木助成事業、フラワーポット植栽事業	
人件費(B)		千円	28,075.2	32,560.3	34,499.3	25,979.4	
トータルコスト(A)+(B)		千円	288,604.2	241,759.3	239,441.3	255,960.4	

3. 事務事業の評価(S E E)

評価類型	評価事項	評価区分	理由			
目的妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 結び付いている	都市空間の確保と快適な生活環境を確保するため、「緑の基本計画」に基づき、魅力ある公園・緑地の整備を進めるとともに、恒久的な緑の財産として市民と行政の協働のもとに緑地の保全に務める。			
		<input type="checkbox"/> 結び付くが見直しの余地がある				
		<input type="checkbox"/> 結びつきが弱い・ない				
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項				
目的妥当性	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	<input type="checkbox"/> 達成している	環境保全林等助成事業及び生産緑地地区の指定事業については、指定すべきものについては、全て指定を完了しているが、相続発生などにより、それらの指定の保全状況が減少している状況にある。 また、市民の森については、都市計画決定した部分の用地の取得が完了しておらず、今後継続的に地権者からの用地の取得を進めていく。			
		<input checked="" type="checkbox"/> 達成していない				
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項				
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項				
目的妥当性	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 (民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。)	<input type="checkbox"/> 可能性はある	良好な景観と緑豊かな都市環境の形成、市街地等における緑地保全・緑化推進は、公が法に基づき施策を講じるものであるため、民営化にはなじまない。			
		<input checked="" type="checkbox"/> 可能性はない				
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項				
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項				
目的妥当性	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のままでよい	現状の「対象」・「意図」で成果に結び付く。			
		<input type="checkbox"/> 見直す必要がある				
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項				
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項				
有効性・効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤-2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。	<input type="checkbox"/> 有効性向上の可能性はある	良好な景観と緑豊かな都市環境の形成、市街地等における緑地保全・緑化推進は、公が法に基づき施策を講じるとともに、市民・事業者等に対する制度等の積極的な周知と活用を図る。			
		<input type="checkbox"/> 効率性向上の可能性はある				
		<input type="checkbox"/> 両方可能性はある				
		<input checked="" type="checkbox"/> 可能性がない				
	⑤-2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	<input type="checkbox"/> 民間委託等	類似事務事業名称	1		実施主体(所管部署)
		<input type="checkbox"/> 再任用職員及び臨時的任用職員等の活用				
		<input type="checkbox"/> IT化等の業務プロセスの見直し				
<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し						
<input type="checkbox"/> 類似事業との統合・役割見直し		2			実施主体(所管部署)	
<input type="checkbox"/> 上記以外の方法						
⑤-3 推進にあたっての課題はあるか？(一時的な経費増・市民の理解等)	<input type="checkbox"/> ある					
	<input type="checkbox"/> ない					

コード	3351	事務事業名称	緑地保全事業			所属名	公園緑地課																						
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。		<input type="checkbox"/> 改革・改善して継続 <input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他			生産緑地や環境保全林・保存樹木については、個人所有ということもあり、相続の発生等により指定が解除され、指定面積の減少が今後も続くと予想される。 また、市民の森については、今後とも地権者から用地買収を続けていく。 その他、開発による緑地の減少を防ぐため、開発事業者に対して緑化の指導を行い、緑地協定等を締結していく。																							
			<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 事業完了 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続																										
		⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">経 費</th> </tr> <tr> <th>削 減</th> <th>不 変</th> <th>増 加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成 果</td> <td>向 上</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>不 変</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>低 下</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </tbody> </table>					経 費			削 減	不 変	増 加	成 果	向 上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	不 変	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	低 下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	緑地等の地権者の高齢化が進んでいることから、今後相続発生等による買い取り申し出に伴い、市民の森用地買収費用の増加が予想される。	
		経 費																											
		削 減	不 変	増 加																									
成 果	向 上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																									
	不 変	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																									
	低 下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																									

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
市街化区域内の緑地保全として、公共施設緑地の確保、民間施設緑地の管理補助等を充実することが求められている。また、平成14年度に制定した緑の基本計画も中間年度を迎え、内容の見直しが求められている。	

所属長コメント	緑地の保全は、基本的には「八千代市緑の基本計画」に基づいて緑地の確保目標水準に向かい、財政状況を考慮しつつ計画的に進めております。生産緑地等減少する中で課題も残されておりますが、今後とも千葉県土地開発公社等の協力を得ながら、推進していく。 この他、八千代ふるさとの緑を守る条例に基づく環境保全林や保存樹木の指定、開発行為等による緑化協定なども合わせて今後とも推進していく。		
評価調整委員会評価	<input type="checkbox"/> 改革改善して継続 <input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 事業完了 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続		
	担当課の評価のとおり、現状のまま継続とする。		